

地元発、京を楽しむ大人マガジン

月刊

京都



1950年10月30日第3種郵便物認可 月刊京都5月号通巻742号
2013年5月1日発行 毎月1日発行〈創刊昭和25年〉

MONTHLY MAGAZINE
KYOTO
since 1950
2013
No. 742
MAY
5

革新に立ち向かう人びとの挑戦

新京の老舗、ラシンド

京の老舗 人びとの挑戦

鈴鹿可奈子 (nikiniki)

住井啓子 (小丸屋住井)

稻岡亞里子 (本家尾張屋)

橋本晃治 (京の米料理 八代目儀兵衛)

細辻伊兵衛
(永楽屋 細辻伊兵衛商店)

次世代を担う、
老舗店のホープたち

西堀耕太郎 (日吉屋)

掛札英敬 (京都掛札)

藤田怜美
(Gatomi Fujita by KAMEYA YOSHINAGA)

新しいもの作り

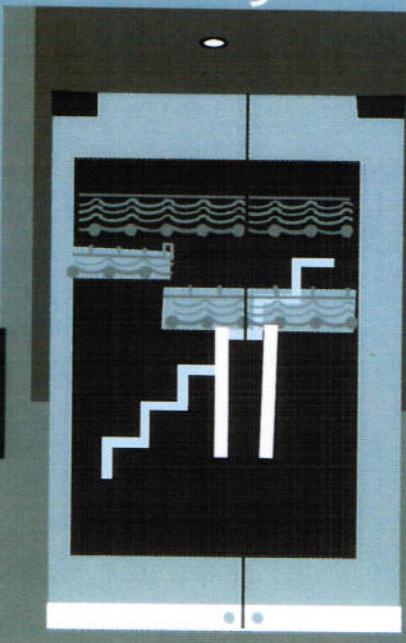
SOU·SOU / 裏具 /
モリカゲシャツ / 和菓子店 青洋

グローバルな視点で
営む京の老舗

「GOON」細尾ほか全8軒



ZEN
雄喜良房



老舗で見つけた面白逸品
誕生ストーリー 全13軒
老舗が展開するニューショップ
全6軒

好評連載
「藪内家若宗匠 藪内紹由の
『燕庵日記』」

鎌田東二
「風のよくな菜物語」
「靈性の京都学」



次世代を担う、 老舗店のホープたち

「伝統工芸は世界で通用する。
可能性を広げ、世界へ伝えていきたい。」



西堀耕太郎

和歌山県新宮市出身。地元の高校を卒業後にカナダへ留学。帰国後、新宮市役所で通訳などを務める。結婚後に公務員を退職、5代目に就任。「伝統は革新の連続である」を企業理念に掲げ、伝統的和傘の継承のみならず、和傘の技術、構造を活かした新商品の研究開発に励む。和風照明「古都里-KOTORI」で2007年度グッドデザイン賞中小企業庁長官特別賞、2007新日本様式百選選定、2008年#FORM（ドイツ・デザイン賞）受賞、他受賞歴多数。

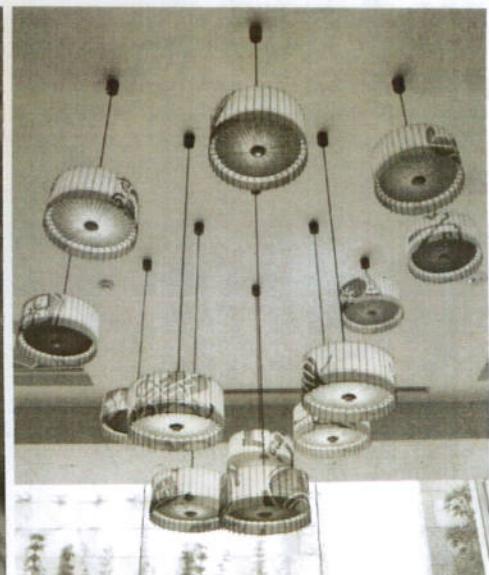
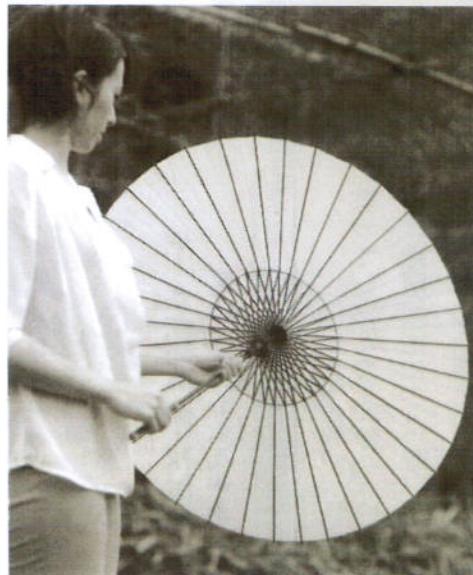
和傘の構造や技術をいかした照明「KOTORI」。洋室で使えるようにデザインされている。また、特注も可能。写真は、御所南にあるホテル『THE SCREEN』のロビーの照明として製作したもの。（写真右）

4月から予約がスタートした最新作は、和傘でも、洋傘でもない第3の傘「Ryoten」。素材にはサトウキビ由来のバイオプラスティックが使用され、日常的に使える耐久性と軽さ、デザイン性を兼ね備える。スイス人デザイナーと共同で製作している。（写真左）



取材・古都真由美

何代も続く老舗の次世代を担う人びとの挑戦を追います。代々受け継いできた伝統をいかしつつ、現代の感性と自由な発想で活躍の場をひろげる期待のホープたち。彼らの考え方や精神に迫ります。





「KOTORI」のランプシェードを軽量スチールでアレンジした『Moto』シリーズは、海外の声を反映して商品化された。5万円。



自立式スタンドはオーストラリア出身のアーティストや、京都出身の書家とコラボしたもの。2万3000円~。



「KOTORI」の照明は現在のモダンな住空間にも似合う。直径38cm弱のもので1万9000円~。

先達が築いた技術とそれを継承する職人。その両方が揃いながら廃業の危機にさらされている老舗は少くない。新宮市役所に勤めていた西堀耕太郎さんが、一〇数年前に見た妻の実家『日吉屋』の状況は、まさにそれだった。西堀さんはそれまで京和傘はもちろんのこと番傘を見たこともない。「だから余計に新鮮だったのかも知れませんが、番傘を初めて見た時の感動は今でも忘れません。こんなきれいなものを売る店が廃業するのはもつたいないと思いました」。

結婚後に、公務員の職を辞してまで伝統工芸の世界に身を転じたのは、役所で培ったパソコンの知識をいかして作った店のホームページに、客が反応し始めたからだ。それまで地元客を中心江戸後期創業の店を継承してきた義母らは、馴染みのないネット販売にまだ半信半疑だったという。それでも西堀さんは確信があった。「これからはネットで買い物をする時代がくる」。

読みは的中し、全国からの注文により販売数は増えたものの、その状況に甘んじることはなかった。「新しい商品を作ろうと思いました。その頃、傘

はもともとことと番傘を見たこともない。「だから余計に新鮮だったのかも知れませんが、番傘を初めて見た時の感動は今でも忘れません。こんなきれいなものを売る店が廃業するのはもつたいないと思いました」。

西堀さんはそれまで京和傘はもちろんのこと番傘を見たこともない。「だから余計に新鮮だったのかも知れませんが、番傘を初めて見た時の感動は今でも忘れません。こんなきれいなものを売る店が廃業するのはもつたいないと思いました」。

その後有能なデザイナーとの出会いがあり、共同でデザイン照明「古都里KOTORI」を制作、販売。傘の構造を巧みにいかしつつ、現代のライフスタイルで使えるようにと生み出された新商品は、国内のデザインコンクールで賞を受賞する。それを機に海外の展示会にも出展をはじめ、今や海外一五カ国から引き合いがある。現状を作り出すベースにあつたのは確かな語学力と広い視野、さらに勇気、行動力。「海外でどんなものが求められるのか知るることは大事ですね。和傘も形狀にとらわれず、その構造と考えを継承しながらどんどん世界に広めたいです」。



■上京区寺之内通堀川東入ル百々町546
☎075-441-6644
④AM10:00~PM5:00
④無休
④なし
④市バス堀川寺ノ内

京甘珠
文の助茶屋



本店(八坂の塔となり)
京都市東山区八坂上町
もしもし(075) 561-1972番
清水店/清水産寧坂
もしもし(075) 561-3172番

リーズナブルに味わえる祇園の隠れ家イタリアン。

La cucina di
Fujii
ラ・クチーナ・ディ・フジイ

定休日:月曜日と火曜日のランチまで、元日
(月曜日が祝日の場合営業、翌平日休み)
東山区四条通花見小路角 井澤ビル4F
☎ 075-532-5539